

# 平成30年度 鳥取県東部沿岸土砂管理連絡調整会議 次第

日 時 平成30年11月27日（火） 午前10時～11時30分

場 所 鳥取県庁（鳥取市東町1丁目220番地）  
第2庁舎 4階 32会議室

## 次 第

### 1 あいさつ

### 2 議 事

#### （1） サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

#### （2） 各管理者の土砂管理への取組

- ・ 千代川における流砂系の改善に向けた検討

（鳥取河川国道事務所）

- ・ 浦富海岸における鳥取方式のサンドリサイクル工法に関する試験施工について  
（砂除去装置を用いたサンドリサイクル工法）

（鳥取港湾事務所）

#### （3） その他

平成30年度 鳥取県東部沿岸土砂管理連絡調整会議 出席者名簿

H30年度		役 職	氏 名	随 行 者
構 成 員	鳥取大学大学院工学研究科	教 授	黒岩 正光	准教授 梶川 勇樹
	鳥取大学	特任教授	松原 雄平	
	環境省近畿地方環境事務所浦富自然保護官事務所	自然保護官	源関 絢	
	国土交通省鳥取河川国道事務所	河川管理課長	佐野 孝行	係長 坂本 裕治
	鳥取海上保安署	署 員	兒玉 慎介	
	鳥取市経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課	課長補佐	小谷 昇一	
	鳥取市農林水産部林務水産課	課 長	三谷 裕之	係長 守山 信敏
	鳥取市都市整備部都市環境課		欠 席	
	岩美町産業建設課	課長補佐	池内 克之	
	鳥取県観光交流局観光戦略課	課長補佐	内田 浩二	
	鳥取県生活環境部緑豊かな自然課	課長補佐	浦田 悦雄	
	鳥取県農林水産部水産振興局水産課	課長補佐	石原 幸雄	
	鳥取県県土整備部空港港湾課	課長補佐	小屋 隆志	
	鳥取県県土整備部鳥取港湾事務所	課長補佐	松本 隆	土木技師 岡田 健司
鳥取県県土整備部鳥取県土整備事務所	係 長	平井 康夫		

事務局

鳥取県県土整備部河川課

平成30年度 鳥取県東部沿岸土砂管理連絡調整会議 配席図

スクリーン

入口

随  
行  
席

入口

窓

随  
行  
席

側

(説明者)

(事務局)

- 鳥取県農林水産部  
水産振興局水産課
- 鳥取県生活環境部  
緑豊かな自然課
- 鳥取県観光交流局  
観光戦略課
- 岩美町産業建設課
- 鳥取市農林水産部  
林務水産課
- 鳥取市経済観光部  
鳥取砂丘・ジオパーク推進課
- 環境省近畿地方環境事務所  
浦富自然保護官事務所
- 鳥取県県土整備部  
鳥取県土整備事務所
- 鳥取県県土整備部  
鳥取港湾事務所
- 鳥取県県土整備部  
空港港湾課
- 鳥取海上保安署

- 鳥取大学  
工学研究大学院  
梶川准教授
- 鳥取大学  
工学研究大学院  
黒岩教授
- 鳥取大学  
松原特任教授
- 国土交通省  
鳥取河川国道事務所

報 道 関 係 者

# 平成29年度 鳥取県東部沿岸土砂管理連絡調整会議 議事概要

日 時：平成29年10月31日（火）午前10時から11時30分  
場 所：鳥取県庁第2庁舎4階32会議室

## 1 議事

### (1) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

サンドリサイクル実施状況、評価分析、今後の方針を海岸ごとに説明。

[対象海岸：岩美海岸（陸上地区、浦富地区）、千代川右岸、千代川左岸、気高海岸、青谷海岸]  
<会議での主な意見>

意見) 鳥取砂丘の海水浴場付近は、平成17年と比べて一部侵食傾向となっているが、これは人工リーフが未整備であったためなのか。また、人工リーフが整備されたことでこれが解決するのか教えてほしい。

回答) ハード整備については、H29年度で概成しているが、自然相手のことなので、はっきりとは言えないが、数年様子を見させてもらい、千代川からの土砂供給量等、様々な要素を加味しながら、他の対策が必要か慎重に判断させてもらいたいと思う。

現対応状況：現在、施設整備や土砂管理（サンドリサイクル）について、シミュレーションを行い、その効果と今後の対策について検討中である。

### (2) 各管理者の土砂管理への取組

#### ■ 千代川流砂系の改善に向けた検討(土砂動態検討)(鳥取河川国道事務所)

- ・現状、千代川では、上下流において、土砂バランスは安定しているが、今後、上流整備（河床掘削等）を行うため、その影響を整理する必要がある。そのため、土砂動態モデルを構築し、土砂流入、流出、移動量について整理をしていく。

#### ■ 青谷海岸（井手ヶ浜）の侵食対策について（鳥取県土整備事務所）

- ・H26年12月の爆弾低気圧により最大7m程度の浜崖が発生。
- ・H27年、H28年度に漂砂移動調査を実施。結果としては、明神岬、丸山岬を越えた砂浜で砂の漂砂が確認されたことから、長和瀬漁港～夏泊漁港をひとつのポケットビーチとして、土砂が移動しているところを確認。
- ・H29年度はダイキンアレス青谷の増築工事に伴い発生する砂について、井手ヶ浜に7000m<sup>3</sup>の陸上養浜を実施しているところで、11月の上旬を目途に完了。その効果をモニタリングしていく。

#### ■ 浜崖後退抑止工(サンドパック)の取組状況について（鳥取県土整備事務所）

- ・岩美海岸においては、海水浴シーズンに間に合うよう養浜を行うが、数日で侵食が発生し、追加で養浜を行うなど、維持管理の面で多くの問題が発生している。
- ・そのため、8月にその対策を検討する委員会を開催し、景観面、防護性、経済性を検討した結果、浜崖後退抑止を目的としたサンドパックにより対策を行うことが決定し、11月に試験施工を行うこととしている。
- ・試験施工後は定期的にモニタリングを実施し、その結果を基に、検討委員会にて、本施工の対策を決定していく。